

Title	社會批評家トシテノかあらいる(三)
Author(s)	石田, 憲次
Citation	經濟論叢 (1918), 6(3): 437-447
Issue Date	1918-03-01
URL	<a href="http://dx.doi.org/10.14989/127340">http://dx.doi.org/10.14989/127340</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

京都帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第六卷 第三號

大正七年三月一日發行

## 論說

營業稅ノ課稅標準(一)……………

法學博士

神戸 正雄

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(四)……………

法學博士

田島 錦治

實質上ヨリ觀察セル植民地ノ分類……………

法學士

山本美越乃

大阪ニ於ケル舊時ノ鹽問屋……………

法學士

本庄榮治郎

露國ニ於ケルまゝるくす說ノ發達(一)……………

文學士

米田庄太郎

社會學ト社會科學(三)……………

文學士

高田 保馬

我國<sup>ニ於ケル</sup>營利心ノ起源及發達(一)……………

文學士

銅直 勇

## 時事問題

取引所外ニ於ケル定期取引(二)……………

法學博士

戸田 海市

勸業銀行ト農工銀行トノ問題(二)……………

法學士

河田 嗣郎

## 雜錄

獨逸經濟學界近況(三)……………

在 米

米田庄太郎

米國ノ戰時租稅法(一)……………

法學士

阿部 賢一

米國ノ戰時海運政策(一)……………

法學士

岸本熊太郎

社會批評家<sup>デラ</sup>カ<sup>デラ</sup>あらいる(三)……………

文學士

石田 憲次

暴利取締令ノ適用ニ就テ……………

法學博士

神戸 正雄

社會批評家トシテ  
ノかあらいる (三)

石田 憲 次

(1) ちやあちずむハ千八百三十二年ノ選舉法改正  
條例ヲ促進スルニ與ツテ力アリシ勞働者階級  
ガ、ソノ結果ガ徒ニ中流階級ノ權力ヲ増シタル  
ノミニテ、自家ノ境遇ハ改善セラレズ、ソノ利  
益ハ無視セララルルニ不平ヲ感ジ、千八百三十七  
年ヨリ四十二年ニ亘レル未嘗有ノ産業萎靡ニ激

(1) Cazamien. Modern England, part II. Justin maecarthy, History of Our Own Times, Vol 1, p. 70-88.

セラレテ起シタル政治運動デアル。ソノ綱領ハ六箇條アリ、丁年者選舉權、國會各年改選、無記名投票、被選舉人財産資格ノ廢止、議員歳費支給、選舉區改正コレデアツタ。而シテ千八百三十九年コレガ下院ニ對スル請願ノ形ヲトツテアラハレタ時、コレニ署名シタルモノ、實ニ百三十八萬ノ多キヲ算シタ。而シテコノ運動ニ加ハレルモノハ、唯無學粗暴ナル勞動者ノミナラズ、人道的ノ熱情ニ驅ラレタル高邁氣鋭ノ青年ヲ多クソノ中ニ算シタ。詩人トマス・クーバあ、へんり・グーいんせんと、ああねすと・じようんずノ如キコレデアル。彼ノ「穀物條例詩人」トシテ、夙ニ千八百三十二年かあらゐるニソノ眞價ヲ認メラレタルえべにいざ・えりおつとノ如キモノノ同情者ノ一人デアツタ。併シ近視短眼ナル政府者流ハ、コレヲ以テ「アツターニ、デイトラハ大狀師さあ・じよん・きやんべる氏ハ千八百三十九年、十月二十四日えちんばらニ於ケル公開ノ晚餐會ニ於テ、ちやあちずむハ既ニ終熄セル運動デアルカノ如

キ演説ヲ試ミタ。然ルニ事實ハコレニ反シ、ちやあちずむハ前後十年ニ亘ツテ、英國治者階級ノ平安ヲ破リ續ケ、千八百四十八年以後漸クソノ氣勢ヲ失シテ、遂ニ全ク其ノ跡ヲ絶ツニ至ツタノデアル。

かあらゐるノ著書「ちやあちずむ」ハコノ運動ガ勃發シテ、世人ノ膽ヲ冷シテ居ル際ニ公ニセラレタモノデアル。然レドモかあらゐるニトツテハ勞動者ニ關スル問題ハ、上ニモイヘル如ク一朝一夕ノモノデハナカツタ。彼ハ千八百三十九年十一月八日書イテイフ。

「私ハちやあちずむトイフ表題ノ長イ雜誌論文、厚イ小冊子、或ハ小サナ一部ノ書ヲ書キ終ヘタ。……此ノ事ハコノ十年間、ソノ一部ハコノ二十年間、私ノ頭腦心胸ニアツタモノデア  
ル。」

かあらゐるハ當ニ十年、二十年ノ間コノ問題ヲ反覆靜思シテ居タノミナラズ、彼ノ思索ノ結果ヲ世人ニ傳ヘントスル熱心ニ燃エテ居タ。彼ハ千八百三十九年ノ夏、英雄崇拜ニ關スル講演

(1) Carlyle, Critical and miscellaneous Essays, Chapman and Hall, London Vol. IV. p. 184-211.

(2) Froude; Carlyle Life in London, Lengmans, Green & Co. Vol 1. p. 183

ヲ終ヘテ後、彼ノ弟ニ與ヘタル手紙ニイフ。  
 「<sup>(1)</sup>私ガ直様何ニ取リ掛ルカ當テテ御覽、四季論ニ勞働者階級ノ事ニ關スル論文ヲ書クノダ。實際ザウナノダ。私ハ大凡一年前ニみるにソレヲ書イテヤラウトイツタノダ。みるハソレヲ引受ケル丈ノ勇氣ガナカツタ。私ハソレヲスルノガ、一種ノ義務使命ナル如キヲ感ジタ。ソレ故ろつくはあと(四季評論集)ニ手紙ヲ送り、都合ノ宜イ返事ヲ受ケタ。………じえいん<sup>(かあらい、るノ要)</sup>ハ非常ニ喜ンデ居ル。ソハ幾分カみるヤ、ソノ活氣ノ無イ輩<sup>ヤカラ</sup>ノ小膽ニ對スル一種ノ面當テカラデア<sup>ル</sup>。急進派ハ、今日ノ如キ有様デハ、コノ勞働者ノ問題ニ關シテ、異教者の迂愚ヲアラハセル故、全ク駄目ダト思フ。」

同年十二月一日ノ手紙ニモイフ。

「<sup>(2)</sup>私ハコレト全ク同ジモノヲ二年前ニ書カウトイツタノダ。馬鹿者奴等<sup>メクラ</sup>ガ、ソレヲ其時ハ私ニ書カセルダケノ勇氣ガ無カッタノダ」十年二十年ノ長日月ノ間、かあらいるノ心頭ニ往來シ、執筆ヲ思ヒ立ツテヨリ既ニ二年ヲ經過スレドモ、

機ヲ得ズシテ、彼ノ腦裡ニ醗酵シツツアツタ思想ハ、今ヤ漸ク彼ガ様大ノ筆ニ乗セラルル事トナツタノデアル。筆端焰ヲ噴クノ概アリシハ素ヨリソノ處デアル。

かあらいるハ稿成ルノ日、約ニ從ツテコレヲるつくはあとニ送ツタ。るつくはあとハ<sup>(3)</sup>「出シ得ナイトイツテ、多少惜イ氣モシタラシイガ、一週間ノ後、ソレヲ返シテ來タ。」かあらいるハコレヲみるニホシタ。みるハ意外ニモ大喜ビデアツタ。彼自ラ主幹セルうえすとみんすたあ評論ガ廢刊セントスルニ際シ、コレガ終ヲ飾ランガ爲メ、かあらいるノコノ論文ヲ貰ヒ受ケント欲シタ。かあらいるハソノ請ヲ許サン事ヲ欲シタガ、併シソノ弟じよんと妻トガ反對ヲ唱ヘ、「ちやあちすむ」ハ一冊ノ書トナツテ、世ニ問ハルル事トナツタ。千八百三十九年ガ暮レヌ中コノ書ハ世ニ出デタ。千部ハ忽チニシテ賣リ切レタ一ノ大キナル塊ノ麵麴種ハ公衆ノ槽中ニ投ゼラレ、其處デ醗酵シ醗酵スルニ委セラレタノデア<sup>ル</sup>。ほいぐ黨員ハかあらいるガどおりいニ似タ

(1) Ibid, p. 174-175.

(2) Froude, Carlyle's Life in London, Vol. I. p. 184

(3) Ibid.

ル意見ヲ有スルニ驚キ、とおりい黨員モ亦、彼ヲ全ク自己ノ與黨視スル能ハザルニ當惑シタ。而シテかあらゐる獨リハ其ノ兩者何レモノ驚愕駭然タルサマニ一種沈痛ノ快感ヲ味ツタ。

かあらゐるハちやあちずむノ卷頭ニ題スルニ、「火無キトコロニ煙無シ」ノ古諺ヲ以テシタ。コレ最モヨク本書ノ精神ヲ代表セルモノデアル。

かあらゐるノ考ヘニ依ルニ、ぐらすむうニ於ケル暗殺團、ちやあちずむノ松明行列、ばあみんがむノ一揆等ハ、英國社會ノ不安ガ表面ニアラハレタルモノニテ、コレヲ暴力ニテ壓迫シ去ラントスル如キハ全ク有害無益ノ試ミデアル。

吾人ハカカル現象ヲ勃發セシムルニ至ツタ原因ニ溯ツテ考ヘル必要ガアル。吾人ハ労働者ノ狀態ニ誤アルカ、彼等ノ心情ニ誤アルカラ窮メテ之レニ施スノ策ヲ考ヘチバナラス。然ルニ、不幸ニシテコノ問題中ノ問題トモイフベキ「英國ノ現狀」ノ問題ハ、我ガ國會議員等ニヨツテ全ク闕却サレテ居ル。急進派ノ議員スラモコノ問

題ニ就テハ口ヲ噤イデ居ル。コノ故如何トイフニ、國會議員等ハ國家ノ爲メニ討議演說セズシテ、自己ノ爲メニシツアルカラデアル。サウシテ全ク常套ノ窠臼ヲ脱シ得ザル爲メデアル。併シナガラ、<sup>(1)</sup>ソレニ對スル眞ノ洞察、社會ノ下流者ノ本來欲スル所ノ何者ナルカニツイテノ上流者ノ眞ノ領會、苦痛ニアル無言ノ動物ノ如ク、彼等ノ腦裡ニアルモノヲ言ヒ得デ、不明瞭ナル喧囂ヲ起シツツ、眼前ニ悶ユル彼等、狂暴ニシテ自ラ知ラザル人々ヲ眞ニ苦メツツアル思想ガ何ナルカラ明カニ解釋スル事ガ、如何ニ言語ニ表現シ得ザル程有用ナル事デアラウ。……コノ點ニ關スル完全ナル明白ハンノ救済ニモ等シイノデアル。」

然ルニ世ニハ英國民ノ平均壽命ガ昔ヨリモ長クナツタ、コレハ社會ノ多數者ノ平均壽命ノ長クナツタ事ヲ意味スルトテ、人道主義者ノ痛歎ノ口ヲ箝セントスルモノガアル。かあらゐるノ考フルトコロニ據ルニ、當時ノ統計程引當ニナラヌモノハ無イノデアル。ソノ統計ハ統計ヲ爲

(1) Carlyle, Critical and miscellaneous Essays Vol. VI. p. 113-114.

ス人ノ主觀的傾向ニ依ツテ如何ヤウニモ左右セ  
ラレルノデアル。カカル現狀ヲ以テシテハ吾人  
ハ唯々各人ノ公平ナル觀察ニ賴ル外ハナイノデ  
アル。

抑モ<sup>(1)</sup>「人ノ幸福ヲ形成スル者ハ何デアルカ。

ソレハ多々アル。而シテ彼ガ得ル賃金ト彼ガソ  
レニ依テ購フ麵包トハソノ中ノ一ノ豫備的條目  
ニ過ギナイ」。併シ、假ニ今、賃金ガ人ノ幸福ヲ  
形成スルモノノ全部デアルトシテモ、賃金ノ量  
如何ノミニ依ツテ、幸不幸ノ問題ガ定マルモノ  
デハ無イ。「コノ第二ノ問題即チ賃金ノ性質」、  
即チ、賃金ガ恒久的ナルカ一時的ナルカノ問題  
ハ「第一ノ量ノ問題ヨリ恐ラク遙ニ重大ナルモ  
ノデアラウ」。吾人ハ勞動者ノ狀態ヲ觀察スルニ  
當ツテハ、彼等ノ賃金ノ量如何ノミニ注意セズ、  
更ニ一步ヲ進メテソノ質如何ニ迄立入ツテ考ヘ  
ナケレバナラヌノデアル。

然ラバ勞動者ノ心情ヲ觀察スル道如何。コレ  
ニハ<sup>(2)</sup>「彼ノ賃金ハ如何ナラムトモ、彼ガ貯蓄ヲ  
ナシツツアリヤ」ヲ尋ヌベキデアル。<sup>(2)</sup>「貯蓄シ

テ居レバ、彼ハ彼ノ境遇ガ内面外面トモ如何ニ  
苦カラウトモ、マダ自暴自棄シテ居ナイ事ヲ證  
スルノデアル。彼ガ宜キ日ノ來ルヲ翹望シ、而  
シテコレニ到達センガ爲メ心ヲ決シテ自ラ努メ  
ツツアル事、彼ノ運命ノ光明モ闇黒モ共ニ、幸  
福ナル希望ノ光輝—人間ガ有スル最終、最初、  
否殆ンド唯一ノ幸福ナル希望ノ光輝ノモトニ結  
合セラレ居ルヲ證スルモノデアル。<sup>(2)</sup>コレヲノ  
點ニ關シ全ク有邪無邪デ、勞動者階級ノ爲メニ  
法律ヲ制定シツツアル立法府ハ、暗闇デ法律ヲ  
作リツツアルモノ、ソノ法ノ當ラ得ル答モナク、  
善良ナル結果ヲ生ズル筈モ無イノデアル」。世ニ  
ハマタ被救恤者ノ減少ヲ楯ニトツテ、英國ノ下  
層民ノ幸福ナルヲ證セントスルモノガアル。併  
シナガラ、被救恤者ノ救貧院ニ於ケル待遇ノ慘  
憫タル事今日ノ如クニシテ、被救恤者ノ數ノ減  
ズルハ、モトヨリ當然デアル。えりさべす朝所  
定ノ貧民救助法ヲ改訂シ、救貧院外ニ於ケル救  
恤ヲ一切禁ジタレバ、コレニテ貧困問題全ク解  
決シ盡サレタリナドスルハ、誤レル事甚シキモ

(1) Ibid, p. 117.

(2) Ibid, p. 118.

ノデアアル。サリトテ舊貧民救助法ノ如ク徒ニ貧民ニ厚クシテ、遊民ヲ保護スルハソノ弊更ニ甚シキモノガアル。<sup>(1)</sup>「吾人ハ苛酷ナル新貧民救助法ヲ、兎モ角、怠惰放恣ノ輩ニ對シ勤儉ナル勞働者ヲ保護セルモノト定義スルノデアアル」。<sup>(2)</sup>「吾人ハ更ニ新貧民救助法ヲ高級者ニヨリテ最下級者ガ一般的ニ管理セラルル事ノ前兆トシテ賞讃セントスル欲スルモノデアアル。……中央政府ニヨル監視ハ、ソレガ如何ナル精神ニヨツテ實施セラレヤウトモ、中央ヨリノ監視デアアル」。而シテ下級民ノ衷心欲スルトコロモ亦聲明ニシテ機宜ヲ得タル監視ニアルノデハアルマイカ。かゝらゐるハ乃チイフ。

「勞働者ノ求メテ居ルモノハ正義デアアル。正當ノ報酬デアアル。而シテタダ金錢上ニ於テノミデハナイ。常ニ勞苦セル下民タル彼ハ、(彼未ダ自ラ知ラザレドモ)仁ト智トヲ以テ彼ヲ統治スベキ長者ヲ得ント欲シテ居ルノデアアル。コレモ亦彼ガナセル奉公ニ對スル正當ナル奉酬デハナイカ。彼ガ求メテ居ルトコロノモノハ、彼ガ人間

トシフ生レタル此ノ世界ニ於テ、人間ラシキ位置ト關係トヲ得ル事ナノデアアル」。

英國ノ下級者ノ境遇ハ更ニ愛蘭問題ト關聯シテソノ悲惨ノ程度ヲ加ヘタ。英國ノ愛蘭統治ノ法ヲ誤レルヤ久シ。而シテ今ヤ其ノ失政ノ禍害ヲ自ラ身ニ蒙リツツアルモノデアアル。愛蘭ノ勞働者ソノ數七百萬、其ノ三分ノ一ハ一年ニツキ三十週間ハ三等ノ馬鈴諸スラ食フ事が出來ナイ。而シテ此ノ輩ハ年々食ヲ求メテ英國ニ侵入スルノデアアル。彼等ガ侵入スルニツレテ、英國ノ勞働者ガ彼等ノ水準ニ下ルハ自然ノ勢デアアル。即チ、既ニ五十萬ノ織物職工ハ一日十五時間働イテ、而モ粗雜極マル食物モ祿々得ラレナイノデアアル。英國ノ農場勞働者ハ一週九志乃至七志デ働キ、蘇國ノ農場勞働者ハ牧牛ノ最モ盛ナル所ニアツテ、而モ牛乳ヲ飲ム事が出來ナイノデアアル。難者或ハ技術ヲ要スル勞働ノ高價ナル事ヲイハムモ、ソレヲノ技術ニ携ハリ得ル人ノ數ハ制限セラレ、シカモ一弛一張常ナキ商業ノ影響ハ、彼等ヲシテ常ニ失業ノ不安ニ驅ラレ

(1) Ibid, p. 123.

(2) Ibid, p. 124.



シムルノデアル。」

而シテソノ失業者ノ悲慘ハ則チ如何。かあら  
いるハ骨ヲ刺ス如キ皮肉ノ筆ヲ揮ツタイフ。<sup>(1)</sup>

「働カム事ヲ欲シテ、而モ仕事ヲ見出し得ザル人  
コソ、恐ラク日ノ下ニ於テ運命ノ不平等ヨリ生  
ズル最モ悲ムベキ觀物デアラウ。ばあんずハソ  
レガ彼ニ如何ナル考ヘヲ起サセタカヲ痛切ニ表  
ハシテ居ル。貧シキ人仕事ヲ求ムルトヤ。衣ヲ  
着宿リヲ得ンガ爲メニ働クベキ許シヲ求ムルト  
ヤ。而シテソノ人間ノモノナル此ノ地球上ニ於  
テ、タダ四足ノ獸類ト同列ニ置カシムガ爲メナ  
リトヤ。喜ンデ働ク馬ニシテ、ソノ報ヒニ食物  
ト宿リトヲ得ザルモノ無シ。而モンハ此ノ二足  
ノ勞働者ノ搜シ求メザルベカラザル所、往々ニ  
シテハ求メテ得ザル所ナノデアル。彼ハ何人ノ  
二足ノ勞働者タル事モ得ナイノデアル。否ナ何  
人ノ奴隸タル事モ得ナイノデアル。而モ彼ハ二  
足ノ勞働者デアル。四足ノソレデハナイ。加之、  
一般傳フル所ニ據レバ、彼ノ裡ニハ天カラ地ニ  
下サレタル不滅ノ靈魂ガアルサウデアル。而シ

テ吾人ハ彼ガ之レヲシモ求メテ居ルノヲ見ルノ  
デアル……」

サリナガラ前ニモイヘル如ク、<sup>(2)</sup>「人間ノ幸福  
ト悲慘トヲ形成スルモノハ、彼ガ外面的ニ所有  
シ又ハ缺乏スルモノデハ無イ。一心正シカラバ  
裸體、饑餓、アラユル種類ノ艱苦、否ナ死スト  
雖モ、快ク堪ヘ忍バレルノデアル。凡テノ人ノ  
堪ヘ得ザルハ不正ノ感デアル。……不正トハ何  
ゾ。不整、不眞、不實ノ又ノ名デアル。即  
チコノ眞實ナル創造セラレタル自然ガ、ソノ渾  
沌ナラズ、荒漠ニシテ旋轉シ基礎ヲ有セザル幻  
影ナラザルノ故ヲ以テ、排斥シ否認スルモノナ  
ノデアル。」

かあらいるハ斯ク論ジ來リテココニ彼特有ノ  
正ライトメイト即強、強アイトメイト即正ノ説ヲ拈出シテ居ル。彼ノ  
考フルトコロニ據ルニ、征服ノ事實ノ如キハ一  
見不正ト暴力トノ表現ノ如キモ、實ハ然ラズ、  
征服ハ被征服者ニモ、征服者ニモ有益ナラズバ  
決シテ永續セザルモノデアル。彼ノのるまん人  
ノ英國征服ノ如キモ、英國ニ福祉ヲ贏セシ事ハ

(1) Ibid, p. 125.

(2) Ibid, p. 133.

殆ド疑ヒ無キトコロデアアル。<sup>(1)</sup>「吾人ガヨク解スル時ハ人間ノ間ニ於テ能力ハ義務ト結合スル事、力ハ常ニ正義ノ片腕トシテ働キ、正ト強ト一見恐ロシキ迄相背反スレド、究極ニ於テ全然相合致スルモノナル事ハ、考フルモ愉快ナル事デアアル。而シテソハ世界史ノ暗黒狂亂ノ渦卷ノ中ニアリテ、永遠ノ北斗星ノ如ク、吾人ヲ照ラスモノデアラウ。」

然ラバ我ガ勞働者階級ハ彼等自身ノ境遇ノ義不義ニツイテ如何ノ考ヘヲカナセル。彼等ハ彼等ヲ治ムル上流階級ノ征服ノ權ノ下ニ安ンズルヲ得ルカ。否ナ。中世ノ征服者ハ名實共ニアル統治者デアツタ。故ニ下民ハヨク其ノ下ニ樂ムヲ得タ。然ルニ現今ノ上流階級ハ獵獸ヲ保存シ、遊獵ニ日ヲ過スヨリ外ニ能無キ輩デアアル。下層民ノ安ンゼルモ素ヨリ當然デアアル。<sup>(2)</sup>「彼ノ佛國革命ハ抑壓サレタル下級民ガ、彼等ヲ抑壓シ、又ハ無視スル上流民ニ對シテ起セル反抗デアアル。而シテソハ畜ニ佛國ノミノ反抗デハナイ。全歐ノソレデアツテ、歐洲各國ニ對シ嚴肅

ナル警告ニ充テシモノデアツタ。」佛國革命ハ一言ニシテ蔽ヘバ、空虛、偽囁ニ對スル挑戰デアツタ。而シテ其ノ教訓ハ地ニ遺セラレ、ソノ厭フベキ狂亂ヲ再ビセネバナルマイカ。

かゝらるハ此ノ處ニ於テ天賦人權ノ問題ニ立入ツテ考フルヲ欲セズ、ソレヨリモ遙ニ實際上考究ノ價值アルハ人間ノ力ナリトイツテ居ル。然リ而シテ人間ノ信仰ノ最始最終ノ信條、スベテノ信仰ノあるふわニシテおめガナルモノハ、「不正ナルモノハ決シテ此世界ニ永續スルヲ得ズ」トイン事ナリト附ケ加ヘテ居ル。蓋シ、遊獵ヲ事トセシ英國ノ貴族ノ三思スベキ事デアツタ。

以上諸種ノ事實ハ皆今日ニ於テ無干渉主義ハ<sup>レイセーフス</sup>勞働階級ニ就テノ問題ニ於テハ不可能ナルヲ示シテ居ルノデアアル。彼等ハ導カレ教ヘラレナケレバナラヌノデアアル。<sup>(3)</sup>「無干渉主義トヤ」かあらるハ獨逸ノ學者ざうえんたいひノ假面ヲ被リテイツテキル。無干渉主義ニ對スル此ノ世間一般ノ要求ハ何デアアルカ。ソハ人事ハ指導ヲ

(1) Ibid, p. 135.

(2) Ibid, p. 137.

(3) Ibid, p. 143-144.

要セス、智慮ト先見トハ、愚昧ト無謀ヨリモヨク指導シ得ルトイフ事ヲ意味スルノデアルカ」  
 「憤怒苦痛ノ裡ニアル醜ノ動物ノソレノ如キ咆哮、呂律ノ廻ラヌ叫ビ、ソハ智慮アル人ノ耳ニハ無言ノ祈禱デアル——ワレヲ導キ給ヘ……ワレヲ治メ給ヘ……ワレハ心狂ヒ情惑ミ自ヲ導クヲ得ザルナルヲ——確ニ凡テノ人權ノ中、無智ナル人ガ彼等ヨリ智慮アル人ニ導カレ、或ハ穩和ニ、或ハ強壓的ニ眞ノ行路ヲ逸セラレシメザル事モソ、最モ爭フヲ得ザル權利デアル。……モシ自由ガ何等カノ意味ヲ有スルナラバ、ソハコノ權利ノ享受ヲ意味シ、ソノ中ニ他ノアラユル權利ハ含マレテ居ルノデアル。……一方ガ彼ノ手ヲ以テ勞作スルハ何故デアルカ。他方ガソレ以上僥マズ撓マズ心ト頭トヲ以テ勞作シナイトスルナラバ、筋骨達シキ職人ハ彼ノ粗剛ナル物質ヲ捏テ上ゲル事ノ兒戲ニアラザル事ヲ見出ス。人々ノ指導モマク遊戯デハナイノデアル。遊戯トシテ取り扱ハルル時、ソガ如何ニナルカハ、ヤガテワカルデアラウ。」

雜錄 社會批評家トシテノあらゐる(二)

而シテあらゐるノ意見ニ據ルニ、民主政治ハ、ソレ自身ノ性質上、自家歸滅ノ事業デアル、結局ハ零ノ勘定トナルノデアル。歴史ハソノ不可能ヲ示シテ居ル。英國ノ共和政府時代ニハくろむるガアラハレタ。佛國革命ニ於テモ、國民公會ハ議政ノ府ヨリ執行ノ府ニ變ジ、遂ニなほれおんガアラハレテ覇權ヲ掌握シタ。今日ニ於テ必要ナルハ、聰明有力ナル政府デアル。眞ノ貴族デアル。眞ノ僧侶デアル。中世ノ貴族僧侶ガ當時ノ民衆ヲ指導セント等シク、實力ヲ備ヘタル貴族僧侶ノアラハレム事デアル。

如何ニシテモ上流社會ハ今ノ儘デアツテハナラナイ。彼等ハ問フデアラウ。然ラバ如何ニセバ可ナルト。凡テノ事ノ始メハ、繰返シテイフガ、何事カ爲サレザルベカラズト悟ルニアルノデアル。現金ガ人間相互唯一ノ連結物ナルガ如キ考ヘヲ懷イテ、議政壇上ニ自家ノ便宜ノミヲ論ジテ居ルノミデアルナラバ、ソノ前途ハ實ニ累卵ヨリモ危イノデアル。

英國ノ歴史ヲ顧ミ、ソノ使命ヲ考フルニ、ソ

(1) Ibid, p. 144.

ハ物質界ノ征服トソノ分配ノ正當ヲ得ルニアル事デアル。<sup>(1)</sup>「彼ノらにみいどノ貴族(千二百十五年  
よん王ニ認メ)ノ人達ヲ考ヘヨ。更ニ反抗ヲ起シテ成功セルアラユル種類ノ人達ヲ考ヘヨ。……私ハイフガ、權力ハコレヲ正シク表現スル事ノ至難ナルモノデアル。サレドモ、ソハ是非ニモ表現セラレネバナラヌノデアル。其ノ時ガ來ルノデアル。ソノ必要ガ來ルノデアル。サウシテ巨大ナル困難ト試験トヲ以テ遂ニ成シ遂ラレルノデアル。コレヲ反逆ノ繼續トシモ呼ブナカレ。寧ロコレヲ發展、啓蒙ノ繼起、節奏アル發想ノ能力ガ常ニ下層ニ及ビ、各階級相繼イデ發想ノ能力ヲ得ルモノナリトイヘ」。而シテ今ヤ勞働者階級ガ其ノ發想ヲ得ムトシテ居ルノデアル。而シテ今ノ議會ニ存在ノ理由アリトセバ、ソハ此處ニ於テ上流ト下流トガ互ニ鎬ヲ削リ、カクスル中ニ相互ノ力ヲ知ル事ノ外ニハアルマイ。英國ハ今偉大ナル運命ヲ孕ンデ居ル時機ニ遭遇シテ居ル。コレニ處スルニハ絶對的ナル誠實ヲ要スル。拒否スベカラザル事實ニ眼ヲ塞イデハナ

ラス。

「大部分ノ人間ガ可成都合ヨクイツテ居レバ、凡テ事ハ無イ。大部分ノ人間ガ然ラズバ、凡テハ誤レルノデアル」。今日ノ狀勢ヲ眼前ニシテ、ナホ無干涉主義ヲ唱フルハ思ハザルモ亦甚シイ。而シテ英國ノ議會急進派ナルモノハ下級ノ不滿ヲ代表シ、事態ノ急ヲ告グルヨリ外ニ、何處ニソノ存在ノ理由ガアル。然ルニ彼等ハ全ク萎縮シ去リ、麻痺シ去ツテ何等ノ實功ヲモ舉ゲ得ザルノデアル。

「不可能トヤ」みらぼうガ彼ノ秘書ニ向ツテ叫ンダ。「俺ニ向ツテ此ノ馬鹿ナ言葉ヲ口ニスルナ」スベテノ災禍、而シテコノ災禍モ亦一ノ夢魔デアル。汝ガソノ下ニアリテ身ジロキ始ムルカ否ヤ、ソノ災禍モマタ本當タイヘバ去ツテ了フノデアル」吾人ハ現狀ヲ匡救スベク結束シテ立チ實際何事カヲ爲ス覺悟ガ無クテハナラヌ。而シテ第一着手ハ那邊ヨリ始ムベキカ。かあるハコレニ對シテニツノ火急ノ問題ヲ示唆シテ居ル。ソハ教育ト殖民トデアル。吾人ハ此

(1) Ibid, p. 161.

ノ二ツノ主張ガあらゐるノ筆ニヨリ如何ニ力強クイヒアラハサレタルカヲ見ヤウ。

「一帝國ノ如何ナル地方ニアツテモ、ソノ住民ガ皆ソノ手足ヲ害サレ、屈竟ノ男ガ皆ソノ右ノ腕ヲ萎ヘサセテ居ルノヲ見ルハ、酷タラシイ事デアルマイカ。然ラバ、強キ靈魂ヲ有セル人ガ、ソノ眼閉サレ、ソノ眼死シテ見レドモ見エザルヲ見ルノハ、ナホ如何バカリカ酷タラシイ事デアラウ。光ハ此ノ世ニ來レリ。而モコノ貧シキ農民ニハ來ルトモ甲斐ナイノデアル。六千年間アダムノ子等ハ夜ノ眼モ睡ラズシテ、工夫シ、實行シ、發見シツツアツタノデアル。神秘無限ニシテ離スベカラザル組合ヲナシツツ、同胞ノ一小隊トシテ、必然ト無明トノ偉大暗黒ナル帝國ニ戰ヲ挑ミツツアツタノデアル。而シテ彼等ハコノ如キノ征服ヲ完成シタ。而モ此ノ農夫ニハソレハ全ク無カツタモ同然ナノデアル。あるふあべつと二十四字ハ彼ニハナホるうにつく（古代のうごん）ノ謎ニ等シイノデアル。彼ハ見過シテ行クノデアル（聖書路加傳第十卷三十一節參照）。サウシ

テ彼ノ偉大ナル靈ノ王國、彼自身ノ同胞ノ勞シテ贏チ得シ領域、彼ノ兄弟ガ征服シタル凡テノモノハ、彼ニハ存在セザルモ同然ナノデアル。眼ニ見エザル帝國、彼ハソヲ知ラヌノデアル。アリトモ氣付カヌノデアル。サレドナホソハ彼ノモノデハアルマイカ。彼自身ノ兄弟ノ征服地、當然萬人ノ爲ニ獲ラレタル所領デハアルマイカ。代々代々傷マシキ妖術ガ彼ノ魂ヲ鎖シ、彼ハ斯ノ如キ帝國ガ彼ノ物デアルヲ知ラヌノデアル。斯ノ如キ帝國ガアリヤ否ヤモ知ラヌノデアル。」

英國ノ教育ノ普及ヲ妨ゲシモノハ、宗教ト教育トノ關係デアツタ。而シテあらゐるハ宗教教育ノ必要ヲ認ムルモ、刻下ノ狀勢ニ際シテハ、ソハ暫ク閑却スルモ可、先ヅ普通教育ノ普及ヲ圖ラネバナラストノ意見デアツタ。

殖民論ニ於テあらゐるハまるさす主義ヲ唱フルモノノ人生ノ實情ニ疎キト、非まるさす主義者ノ空想的樂觀論ト、共ニ之レヲ駁シ、而シテ大規模ノ殖民ヲ推奨シテ居ルノデアル。彼ハ

イフ。

(4) 人口過剩トヤ、而モ、ゴノ歐羅巴ノ西ノコノ狭小ナル邊陲ガ人口過多ナラバ、空イテ居ル全地球上ノ到ル處ガ、我々ニ向ツテ、來リテ我ヲ耕セ、來リテ我ヲ耕セト呼ンデ居ルモ同然デハナイカ。我ガ地球ノ如キ處ニアリテ新シキ人類ガ生レルノガ災禍デアル筈ガアラウカ。商品トシテ、勞働機械トシテ考フル時、ばあみんがむニデモ、ソノ他ニデモ、人間程重寶ナ機械ガ何處ニアルデアラウカ。」

以上ガかあらいるノ「ちやあちずむ」ノ所論ノ大體デアル。而シテ「ばすと、あんど、ぶれせんど」ニ於テハ彼ハ更ニソノ思想ヲ精鍊シ、擴充シテ、コレニ與フルニ甚タ藝術的ナル形式ヲ以テシタ。吾人ハ次ニ彼ノ此ノ著書ヲトツテ檢スルデアラウ。